



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月5日

上場会社名 綜研化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4972 URL http://www.soken-ce.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 純一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 滝澤 清隆 (TEL) 03-3983-3268
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,004	△0.2	1,430	37.0	1,482	68.8	1,192	68.4
2020年3月期第2四半期	14,033	△10.1	1,044	△6.1	878	△17.7	708	△12.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,003百万円(119.5%) 2020年3月期第2四半期 457百万円(△6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	145.02	—
2020年3月期第2四半期	85.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	35,798	23,820	66.5
2020年3月期	35,331	23,244	65.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 23,820百万円 2020年3月期 23,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	4.5	2,550	25.3	2,500	34.7	1,900	16.1	231.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	8,300,000株	2020年3月期	8,300,000株
2021年3月期2Q	64,014株	2020年3月期	83,966株
2021年3月期2Q	8,222,130株	2020年3月期2Q	8,276,459株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界的な景気後退局面から持ち直しの動きがみられ、特に中国における景気回復が顕著であったものの、欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大や米中対立激化が懸念されるなど先行き不透明な状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは新型コロナウイルス感染防止策を徹底するとともに、市場・顧客ニーズの変化に迅速かつ柔軟に対応し、既存事業の収益基盤の強化と新たな事業領域の創出を果たすため、中国事業拠点での研究開発機能の拡充や生産能力の増強、自動車・エネルギー・ヘルスケア等の成長分野での事業間シナジーを追求した組織横断的戦略の推進、将来の社会環境の変化や技術革新を見据えた継続的な新規事業開発体制の構築に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、自動車・家電分野などでの需要減少の影響を受けましたが、中国市場を中心に液晶ディスプレイ関連分野の需要が急回復し、ケミカルズの販売が増加した一方、装置システムの工事完成高が減少したことにより、売上高は140億4百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

利益面では、新型コロナウイルス感染防止策による活動経費の減少や原油価格下落に伴う原材料費の減少など一過性の増益要因に加えて、中国市場の回復に伴う工場稼働率の向上などにより、経常利益は14億82百万円（前年同期比68.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、11億92百万円（前年同期比68.4%増）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

<ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高126億40百万円（前年同期比1.3%増）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、自動車・建材分野など一般用途向けの販売数量が減少したものの、需要回復が顕著であった中国市場での液晶ディスプレイ関連用途向けの販売が伸びたことなどにより、売上高は78億88百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

微粉体製品は、電子部品関連用途向けの販売数量が増加したものの、中国市場での光拡散用途向けの販売数量が減少したことなどにより、売上高は12億45百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

特殊機能材製品は、中国市場を中心に電子材料用途向けの販売数量が増加したことなどにより、売上高は14億65百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

加工製品は、中国市場での機能性粘着テープの販売が電子情報機器用途向けで増加したものの、家電用途向けなどで減少したことや、東南アジア市場での需要低迷の影響を受けたことなどにより、売上高は20億41百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

<装置システム>

装置システムについては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う工事案件の工期延長や発注延期などの影響を受けて工事完成高が減少したことなどにより、売上高は13億64百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて4億67百万円増加し、357億98百万円となりました。

流動資産は、電子記録債権が減少したものの、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したことなどにより、前期末に比べ5億11百万円増加し、198億79百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券が増加したものの、無形固定資産、繰延税金資産が減少したことなどにより、前期末に比べ43百万円減少し、159億19百万円となりました。

一方、負債については長期借入金が減少したことなどにより、前期末に比べ1億7百万円減少し、119億78百万円となりました。

当期末における純資産は、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べ5億75百万円増加し、238億20百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末65.8%から0.7ポイント増加し66.5%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前期末に比べ1億9百万円増加し、68億54百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、22億55百万円となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益14億63百万円、減価償却費9億15百万円などによる増加と、たな卸資産の増加4億32百万円などに伴う減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、15億25百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得15億円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、5億72百万円となりました。

これは、主に長期借入金の返済1億20百万円、配当金の支払額4億52百万円などに伴う減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年6月16日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。修正の詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,245,020	4,354,667
受取手形及び売掛金	6,028,520	6,453,513
電子記録債権	2,481,766	2,115,010
有価証券	2,500,000	2,500,000
商品及び製品	2,729,330	3,154,118
仕掛品	106,770	182,049
原材料及び貯蔵品	953,616	840,952
その他	337,739	294,553
貸倒引当金	△14,479	△15,526
流動資産合計	19,368,285	19,879,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,330,141	14,287,588
減価償却累計額	△8,127,708	△8,299,045
建物及び構築物（純額）	6,202,432	5,988,543
機械装置及び運搬具	19,033,730	18,997,102
減価償却累計額	△14,156,183	△14,504,516
機械装置及び運搬具（純額）	4,877,546	4,492,586
土地	1,361,838	1,351,777
使用権資産	609,799	594,163
減価償却累計額	△128,928	△131,576
使用権資産（純額）	480,870	462,586
建設仮勘定	211,288	832,794
その他	2,580,357	2,642,115
減価償却累計額	△2,000,352	△2,057,061
その他（純額）	580,004	585,054
有形固定資産合計	13,713,979	13,713,343
無形固定資産		
その他	408,030	374,476
無形固定資産合計	408,030	374,476
投資その他の資産		
投資有価証券	720,811	819,673
繰延税金資産	985,689	885,484
その他	137,884	130,056
貸倒引当金	△3,520	△3,520
投資その他の資産合計	1,840,865	1,831,694
固定資産合計	15,962,875	15,919,513
資産合計	35,331,161	35,798,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,087,803	5,108,096
短期借入金	1,018,517	948,765
1年内返済予定の長期借入金	1,240,000	1,240,000
未払法人税等	114,855	168,487
賞与引当金	558,446	496,644
役員賞与引当金	45,000	20,000
完成工事補償引当金	3,000	1,900
工事損失引当金	5,543	3,981
その他	2,012,389	2,076,449
流動負債合計	10,085,555	10,064,325
固定負債		
長期借入金	120,000	—
退職給付に係る負債	1,858,156	1,890,382
その他	22,707	23,725
固定負債合計	2,000,863	1,914,107
負債合計	12,086,419	11,978,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,391,214	3,391,491
利益剰余金	15,999,755	16,740,260
自己株式	△100,430	△76,568
株主資本合計	22,652,101	23,416,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169,425	233,769
為替換算調整勘定	517,954	254,784
退職給付に係る調整累計額	△94,740	△84,882
その他の包括利益累計額合計	592,639	403,671
純資産合計	23,244,741	23,820,419
負債純資産合計	35,331,161	35,798,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	14,033,658	14,004,321
売上原価	9,553,407	9,287,371
売上総利益	4,480,250	4,716,949
販売費及び一般管理費	3,436,062	3,286,638
営業利益	1,044,187	1,430,311
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,743	19,275
持分法による投資利益	8,784	—
為替差益	—	15,354
補助金収入	29,231	28,718
雑収入	30,066	27,701
営業外収益合計	87,826	91,049
営業外費用		
支払利息	31,104	24,190
為替差損	189,411	—
雑損失	33,111	14,551
営業外費用合計	253,627	38,741
経常利益	878,386	1,482,619
特別利益		
投資有価証券売却益	16,135	—
特別利益合計	16,135	—
特別損失		
固定資産除売却損	7,780	18,672
特別損失合計	7,780	18,672
税金等調整前四半期純利益	886,741	1,463,947
法人税等	178,519	271,560
四半期純利益	708,221	1,192,386
親会社株主に帰属する四半期純利益	708,221	1,192,386

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	708,221	1,192,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,271	64,343
為替換算調整勘定	△220,029	△263,170
退職給付に係る調整額	12,015	9,858
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,844	—
その他の包括利益合計	△251,129	△188,968
四半期包括利益	457,092	1,003,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457,092	1,003,418

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	886,741	1,463,947
減価償却費	629,857	915,852
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,865	1,174
賞与引当金の増減額(△は減少)	△181,003	△61,802
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,788	46,810
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△5,400	△1,100
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,000	△25,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	1,788	△1,562
受取利息及び受取配当金	△19,743	△19,275
支払利息	31,104	24,190
為替差損益(△は益)	84,412	1,221
補助金収入	△29,231	△28,718
固定資産除売却損益(△は益)	7,780	18,672
投資有価証券売却損益(△は益)	△16,135	—
持分法による投資損益(△は益)	△8,784	—
売上債権の増減額(△は増加)	758,282	△161,022
仕入債務の増減額(△は減少)	△587,722	46,709
たな卸資産の増減額(△は増加)	523,774	△432,130
未払消費税等の増減額(△は減少)	△72,718	70,129
その他	△317,080	489,210
小計	1,669,845	2,347,307
利息及び配当金の受取額	19,744	19,277
補助金の受取額	29,231	28,718
利息の支払額	△32,254	△23,845
法人税等の支払額	△88,638	△116,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,597,928	2,255,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,268,453	△1,500,545
有形固定資産の売却による収入	171	—
無形固定資産の取得による支出	△130,024	△17,092
投資有価証券の取得による支出	△10,483	△8,473
投資有価証券の売却による収入	29,519	—
その他	1,090	1,090
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,378,180	△1,525,021

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	21,086	—
長期借入金の返済による支出	△120,000	△120,000
自己株式の取得による支出	△97,177	△59
配当金の支払額	△454,769	△452,434
財務活動によるキャッシュ・フロー	△650,861	△572,493
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,454	△48,273
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△444,567	109,646
現金及び現金同等物の期首残高	6,510,851	6,745,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,066,283	6,854,667

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,475,389	1,558,268	14,033,658	—	14,033,658
セグメント間の 内部売上高又は振替高	175	95	270	△270	—
計	12,475,565	1,558,363	14,033,928	△270	14,033,658
セグメント利益	922,033	86,708	1,008,741	35,446	1,044,187

(注) 1. セグメント利益の調整額35,446千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,640,028	1,364,292	14,004,321	—	14,004,321
セグメント間の 内部売上高又は振替高	162	14,700	14,862	△14,862	—
計	12,640,191	1,378,992	14,019,184	△14,862	14,004,321
セグメント利益	1,347,267	35,705	1,382,972	47,339	1,430,311

(注) 1. セグメント利益の調整額47,339千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。